

合意形成研究会 (研究分担者)

齋藤 純一 (さいとう じゅんいち)



※研究分野：政治理論

※合意形成に関する研究の視点：

規範的政治理論の観点から、民主的な意見・意志形成における「合意」と決定の正統性の問題について考察する。

職名	早稲田大学政治経済学術院教授
略歴	福島県福島市生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程中途退学。横浜国立大学経済学部教授等を経て、現職。
所属学会	日本政治学会(理事)、政治思想学会(理事)、社会思想史学会
本研究会における報告	第1回研究会(2015年6月21日)
研究業績など	<p>[主要著書]</p> <p>齋藤純一『公共性』(岩波書店, 2000年)。 齋藤純一『自由』(岩波書店, 2003年)。 齋藤純一『政治と複数性——民主的な公共性にむけて』(岩波書店, 2008年)。</p> <p>[共著・編著]</p> <p>伊豫谷登士翁・齋藤純一・吉原直樹共著『コミュニティを再考する』(平凡社, 2013年)。 齋藤純一・川岸令和・今井亮祐共著『原発政策を考える3つの視点』(早稲田大学出版部, 2013年)。 齋藤純一・田村哲樹編『アクセス デモクラシー論』(日本経済評論社, 2012年)。 齋藤純一・宮本太郎・近藤康史編『社会保障と福祉国家のゆくえ』(ナカニシヤ出版, 2011年)。 齋藤純一・須賀晃一編・田中愛治監修『政治経済学の規範理論』(勁草書房, 2011年)。 齋藤純一編『政治の発見(3) 支える——連帯と再分配の政治学』(風行社, 2011年)。 齋藤純一編『講座人権論の再定位(5) 人権の実現』(法律文化社, 2011年)。 齋藤純一・山岡龍一編『公共哲学』(放送大学教育振興会, 2010年)。 齋藤純一編『公共性をめぐる政治思想』(おうふう, 2010年)。 齋藤純一編『公共性の政治理論』(ナカニシヤ出版, 2010年)。</p> <p>[論文等]</p> <p>齋藤純一「政治的公共圏から見る立法——法の「作者」と「編者」」、井上達夫編『立法学のフロンティア』1、ナカニシヤ書店、2014年、127-147頁。 齋藤純一「ハーバーマス——正統化の危機／正統化の根拠」齋藤純一責任編集『岩波講座政治哲学5 理性の両義性』岩波書店、2014年、173-198頁。 齋藤純一「政治的空間における理由と情念」、『思想』1033号(2010年5月)、14-34頁。 齋藤純一「感情と規範的期待——もう一つの公私区分の脱構築」、井上達夫編『岩波講座哲学10 社会／公共性の哲学』、岩波書店、2009年、109-127頁。</p>
ホームページ	
連絡先	jsaito@waseda.jp
備考	